

遠隔教育特講

第14講 高大連携による地域課題探究型学習

久世 均(岐阜女子大学)

第14講 高大連携による地域課題探究型学習

【目 的】

知識循環型社会においてデジタルアーカイブを有効的に活用し、新たな知を創造するという岐阜女子大学独自の「知的創造サイクル」の手法により、地域課題に実践的な解決方法を確立するために、地域に開かれた地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成のための基盤整備をした。このことにより、地域課題に主体的に取り組む人材を養成する大学として、地方創成イノベーションの実現と伝統文化産業の振興ならびに新たな観光資源の発掘を行うことができる。また、本研究を地域のフィールドにおける実証検証をするための研究として捉え、解の見えない地域課題の解決をするための地域資源デジタルアーカイブによる地域活性化を考える。

【学習到達目標】

- 地域資源デジタルアーカイブについて説明できる。
- 地域資源デジタルアーカイブの教育利用について具体例を示して説明できる。
- 地域資源デジタルアーカイブと地域課題探求型学習との関係について説明できる。



私立大学研究ブランディング事業の概要

地域資源デジタルアーカイブによる **知**の拠点形成のための基盤整備事業

～デジタルアーカイブにより新たな価値を創造できる人材の養成～

- A Practical Study for Formation of Knowledge Base by Regional Resource **D**igital **A**rchive

私立大学研究ブランディング事業

- 平成29年度採択 3年間
- 応募総数 188件
- 岐阜県は本学のみ タイプA

タイプ		採択件数
タイプA	社会展開型	33件
タイプB	世界展開型	27件
計		60件

タイプA 社会展開型

地域の経済・社会、雇用、文化の発展や特定の分野の発展・深化に寄与する研究

特定の地域あるいは分野における、地域の資源活用、産業の振興・観光資源の発掘・文化の発展への寄与、企業や雇用の創出等を目的とするもの。



伝統文化産業の振興 飛騨高山の匠の技

- 伝統産業（春慶塗・一位一刀彫等）の記録
- 匠の“こころ”の記録 オーラルヒストリー
- 海外への発信



新たな観光資源の発掘 郡上白山文化遺産

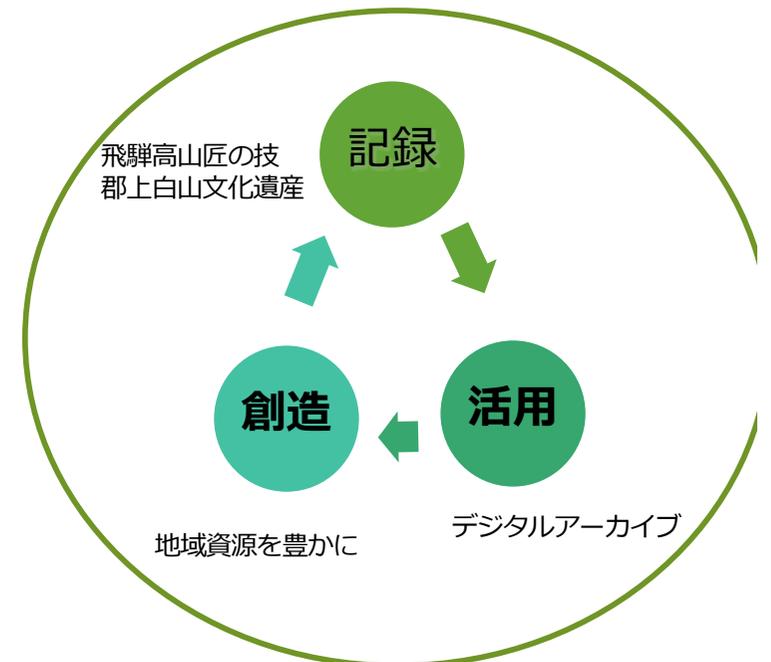
- 郡上白山文化遺産の記録
- 建築物群の歴史的な価値の調査
- 白山信仰の三馬場の調査
- 世界遺産への登録支援

地方創成イノベーション

解の見えない地域課題の解決をするための
地域資源デジタルアーカイブ
とそのメソッドを確立



地域資源デジタルアーカイブにおける
知的創造サイクルの実現
(知の増殖型サイクル)





デジタルアーカイブの実績

78,783点 (2020. 2月現在)

2019年度達成目標 100,000点 (達成度 79%)

- 【目的】 飛騨高山における匠の技を後世に語り継いでいくためのデジタルアーカイブを開発する。
 ○飛騨に息づく匠の技を、日本で始めて総合的にデジタルアーカイブし、匠の技を後世に残す
 ○飛騨高山の地で、育み受け継がれてきた伝統木工技術による「曲げ木」等の匠の技の伝承



現代の匠の技（飛騨産業株式会社）

工程

家具	伐採	乾燥	切断・加工	曲げ・圧縮	成型	組立	搬出	伝承
<ul style="list-style-type: none"> 飛騨の家具の美 飛騨の家具の丈夫さ 伝統的なデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> 木の伐採 木の運搬 木の加工 	<ul style="list-style-type: none"> 乾燥の条件 飛騨の風土 乾燥の効果 乾燥技術 	<ul style="list-style-type: none"> 木の切断技術 木材の目利きの技術 木材の接着技術 	<ul style="list-style-type: none"> 曲げの技術 飛騨の匠の技術 曲げの工夫 加熱・曲げの工程 	<ul style="list-style-type: none"> 成型技術 独自の成型機 飛騨のデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> 仕上げ技術 塗装技術 組み立て技術 全体デザイン 	<ul style="list-style-type: none"> 搬出 梱包 	一般社団法人 飛騨職人学舎
4カット 240s (1カット60s)	2カット 120s	2カット 120s	2カット 120s	4カット 240s	4カット 240s	4カット 240s	2カット 120s	10カット 600s (インタビュー含む)

撮影のポイント

撮影時間



◆飛騨の匠のオーラルストーリー

- 【目的】 飛騨高山における匠の技を後世に語り継いでいくためのデジタルアーカイブを開発する。
- 飛騨に息づく匠の技を、日本で始めて総合的にデジタルアーカイブし、匠の技を後世に残す
 - 飛騨高山の地で、育み受け継がれてきた伝統木工技術による「曲げ木」等の匠の技の伝承



1. 一位一刀彫の一連の工程

動画 (3方向)、静止画 (100枚)

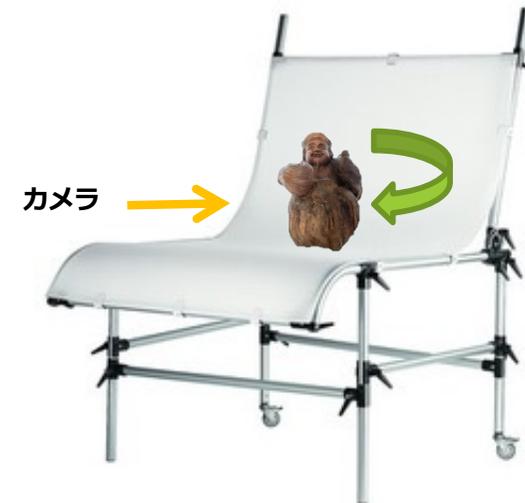
- 木取り (4カット・240S)
- 荒取り (3カット・180S)
- 新彫り (3カット・180S)
- 中彫り (3カット・180S)
- 仕上げ彫り (4カット・240S)

2. 一位一刀彫の作品

- 20作品 (静止画 80枚 4方向)
- 10作品 (動画・10カット・600S)

3. 一位一刀彫 匠の“こころ” アーカイブ

- ①一位一刀彫の“匠の技”と“こころ”を紐解く
- ②一位一刀彫と飛騨の歴史の関連性
- ③一位一刀彫の魅力
- ④一位一刀彫と飛騨の生活



- 【目的】 飛騨高山における匠の技を後世に語り継いでいくためのデジタルアーカイブを開発する。
 ○飛騨に息づく匠の技を、日本で始めて総合的にデジタルアーカイブし、匠の技を後世に残す
 ○飛騨高山の地で、育み受け継がれてきた伝統木工技術による「曲げ木」等の匠の技の伝承



1. 飛騨春慶の一連の工程

動画（3方向）、静止画（100枚）

- 木地の工程(挽物) (4カット・240S)
- 木地の工程(板物) (4カット・240S)
- 木地の工程(曲物) (4カット・240S)
- 塗りの工程 (3カット・180S)

2. 飛騨春慶の作品

- 20作品（静止画 80枚 4方向）
- 10作品（動画・10カット・600S）

3. 飛騨春慶 匠の“こころ” アーカイブ

- ① 飛騨春慶塗の“匠の技”と“こころ”を紐解く
- ② 飛騨春慶塗と飛騨の歴史の関連性
- ③ 飛騨春慶塗の魅力
- ④ 飛騨春慶塗と飛騨の生活



- 【目的】 飛騨高山における匠の技を後世に語り継いでいくためのデジタルアーカイブを開発する。
- 飛騨に息づく匠の技を、日本で始めて総合的にデジタルアーカイブし、匠の技を後世に残す
 - 飛騨高山の地で、育み受け継がれてきた伝統木工技術による「曲げ木」等の匠の技の伝承



現代の匠の技（岐阜県伝統建築家 嶋田 繁氏）

約1300年前に都造りの中心で生きていた飛騨の匠の志と技術は、途切れることなくはるかな時を経て現代の匠に受け継がれています。

- 飛騨の大工の技のデジタルアーカイブ
 - 飛騨の大工の匠へのインタビュー
- ### 飛騨の匠の技術の伝承

その昔、5世紀後半から6世紀頃の大和時代では、天皇が変わる度に都が変わり（遷都）宮殿造り、都造りが相次いでいました。飛騨からも大勢の人々が宮廷や寺院の建築に従事していましたが、さらに朝廷は718年、租、庸、調などの税のうち、庸、調を免ずる代わりに飛騨の工匠を里ごとに10人出せという「斐陀匠条」を規定しました。ここから約500年に渡り延べ4万とも5万ともいえる飛騨人が都造りに命を懸けてきました。斐陀匠条とは律令であり、今でいう憲法である。日本国を統一するための法に飛騨の国を令の一部に加えるという事は、いかに朝廷が経験豊富な技術集団を必要としていて、飛騨人の木工に対する技術や魂（こころ）、人柄を高く評価していたかがわかります。匠の中には徴用の任期を終えた後も都にとどまり勤務を続け、従八位上にまで昇進した者もありました。このように小さな飛騨の国から大和に来て、都造りに携わった卓越した技能集団を人々は「飛騨の匠」と呼び、全国に広まっていきました。

- 飛騨の匠と飛騨の大工の技



- 【目的】 飛騨高山における匠の技を後世に語り継いでいくためのデジタルアーカイブを開発する。
 ○飛騨に息づく匠の技を、日本で始めて総合的にデジタルアーカイブし、匠の技を後世に残す
 ○飛騨高山の地で、育み受け継がれてきた伝統木工技術による「曲げ木」等の匠の技の伝承



カメラ



カメラ



カメラ



カメラ

1. 飛騨建築の一連の工程

動画（3方向）、静止画（100枚）

建築の工程（4カット・240S）

古くから「匠の里」として栄え、現在でも建築業に従事する人の割合が高いといわれる飛騨。奈良時代以降、高い技能を持っていた飛騨の匠たちは都に派遣され、藤原京や平城京、平安京の建築にも携わったと伝えられています。万葉集や日本書紀、今昔物語、源氏物語などにも、飛騨の匠たちの真面目で一途な仕事ぶりや高い技術への賞賛が描かれているほどです。先人たちが磨いた技法は今に受け継がれ、建築はもちろんのこと、家具や一刀彫、陶芸、飛騨春慶塗りなど、飛

騨を代表する様々な分野に活かされています。

2. 飛騨春慶塗の作品

20建築（静止画 80枚 4方向）

古川町の中心部は明治37年の大火でほぼ消失しましたが、飛騨の人々はその後、伝統的な建築様式を踏まえて家を建て直しました。現在でもその名残から、殿町、寺之町、式之町を中心に、伝統的な町屋がいくつか残っており、新しく建てられた一般の家々も、飛騨の匠の技を随所に取り入れ、美しい古川の町並みを守っています。最近では、そんな町並みを楽しまうと、観光案内所や匠文化館などで配布されている町歩きマップを片手に、写真を撮りながらのんびりと散策している観光客も増えてきています。出窓や出格子、玄関戸、塗壁、雲など古くから受け継がれてきた飛騨の伝統的な建築技術は、町のいたる所で見かけることができます。

10建築（動画・10カット・600S）

飛騨の大工さんたちは、自分が建てた建物の軒下に「雲」という装飾を施します。「雲」は大工さんによって形が違う紋章のようなもので、飛騨の家々の軒に見られる大きな特徴です。匠文化館は、そんな匠の技を受け継ぐ地元の大工さんによって建てられた立派な建物。なんと釘を1本も使わずに建てられ、館内では継ぎ手や組み木といった技や、建築に携わった大工さんたちの「雲」なども見られます。

3. 飛騨の建築 匠の“こころ” アーカイブ

- ① 飛騨建築の“匠の技”と“こころ”を紐解く
- ② 飛騨建築と飛騨の歴史の関連性
- ③ 飛騨建築の魅力
- ④ 飛騨建築と飛騨の生活

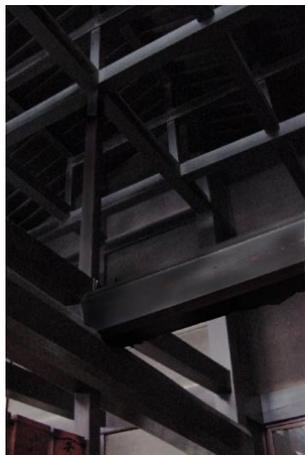


明治12年高山随一の名工 川尻治助（カワジリ・ジスケ）が江戸時代の建築様式そのままの邸宅を造り上げた。切り妻造り段違い二階建て、一部抜きの総檜造り。豪快に組み上げられた梁組と広い土間が表す空間美。高窓から差し込んでくる光と共に移り変わる梁組の陰影のリズムの変化に注目。

★日下部家の歴史

日下部家は、天領時代幕府（代官所）の御用商人として栄えた商家で、屋号を「谷屋」といい、嘉永5年には、役所の御用金を用立てする掛屋（かけや）をつとめ、後には両替屋を営んだ。飛騨の旦那衆のなかでも屈指の名家であった。町年寄りも務め、明治4年の小作米は230石に及ぶ。当時の邸宅は平屋であったが、明治8年の大火で類焼した。

匠の技の歴史アーカイブ



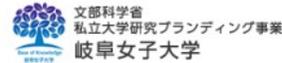
明治40年川原町の名工西田伊三郎（ニシダ・イサブロウ）により建てられ、昔の造り酒屋の面影を伝える華麗な商家。土間の吹き抜け部分で、大黒柱を中心として構成される梁組と高窓から差し込む光がもたらす陰影に注目。昭和52年米国の建築界の巨匠チャールズ・ムーアが「自分が見たうちでは最高の日本建築である」と激賞した。吉島家は、日下部家と相接しており明治8年の大火で焼失し、再建された。しかし、30年も経たないうちに、明治38年また焼失した。

★吉島家の歴史

吉島家は天明8年（1784）に、初代重兵衛が高山に居住したのがはじまりで、代々酒造業を営んできた家で、酒神を祭る三輪神社の杉玉を軒先に下げている。江戸後期頃から生糸繭の売買などで栄えた。

匠の技の歴史アーカイブ





現状と課題認識



目的



計画の内容



デジタルアーキビスト



イベント報告



実績

Web公開型データベースの構築

トップページ



文部科学省 私立大学研究ブランディング事業 地域資源デジタルアーカイブによる 知の拠点形成のための基盤整備事業

岐阜女子大学

READ MORE

事業内容

本事業は、地域に根差し地域社会に貢献する大学として、本学独自で育んできたデジタルアーカイブ研究を活用し、地域資源のデジタルアーカイブ化とその展開によって、伝統文化産業の活性化などの地域課題の実践的な解決や新しい文化を創造できる人材育成を行い、地域の知の拠点となる大学を目指すものである。

お知らせ



検索

お知らせ

» お知らせ

» キースト・教材

» イベント

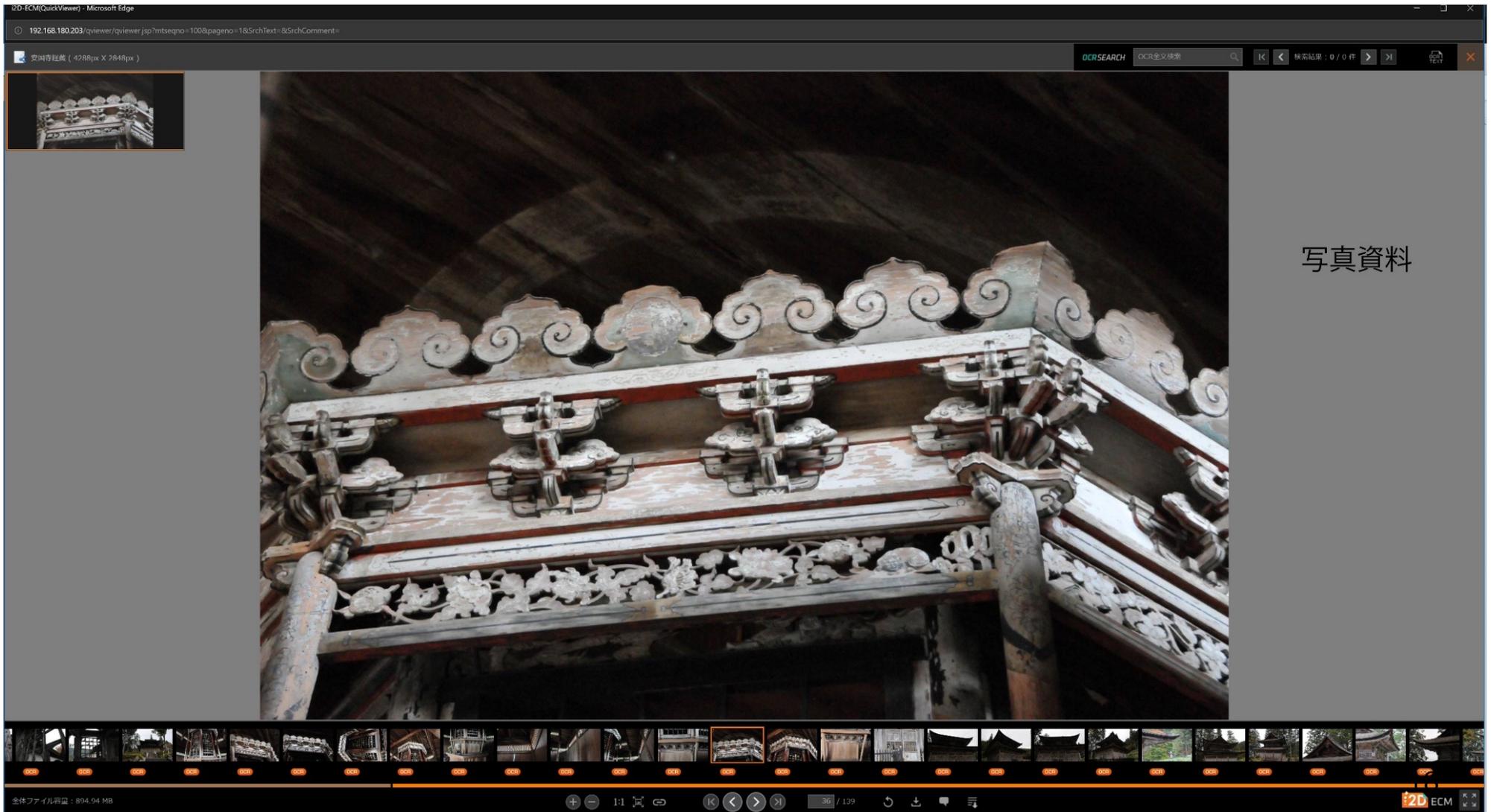
» データベース

» 郡上白山文化遺産デジタルアーカイブ

» 飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ

・ 非公開長期保存データベースの構築

地域資料の内容（建造物）



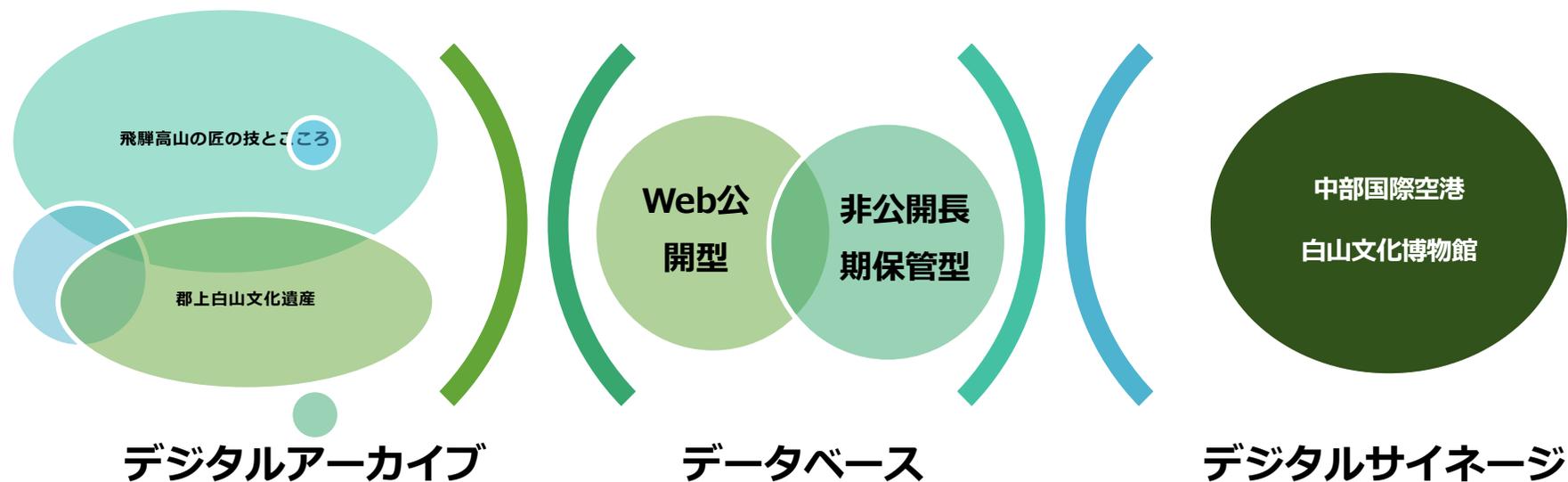


地域資源デジタル アーカイブメタ データ

1	表題名 (ふりがな)
2	資料名 (ふりがな)
3	作成者
4	内容分類
5	内容細目
6	対象時代・年
7	地域・場所
8	索引語 (キーワード)
9	内容
10	特色
11	提示種類
12	関連資料
13	利用分野
14	ファクトデータ
15	プロセス
16	結果
17	記録媒体 (コレクション数)
18	権利者 (連絡先)
19	協力者 (連絡先)
20	許諾情報
21	活用支援 (利用注意)
22	登録日 / 登録者

中部国際空港におけるデジタルサイネージ

本学では、知識循環型社会においてデジタルアーカイブを有効的に活用し、新たな知を創造するという岐阜女子大学独自の「知の増殖型サイクル」の手法により、地域課題に実践的な解決方法を確認するために、地域に開かれた「地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成のための基盤整備」をしています。その中で、地域資源デジタルアーカイブを地域の課題の解決のために、デジタルサイネージへの新しい利活用への展開をしています。







郡上白山文化遺産デジタルアーカイブ

デジタルアーカイブの実績

72,025点 (2020. 2月現在)

2019年度達成目標 50,000点 (達成度144%)



岐阜市文化遺産デジタルアーカイブ

デジタルアーカイブの実績

8,778点 (2020. 2月現在)



沖縄文化遺産デジタルアーカイブ

デジタルアーカイブの実績

2,470点 (2020. 2月現在)

100年保存の方法の開発

光ディスクアーカイブは第3世代へ
— デジタルデータを100年以上*保存 —



Optical Disc Archive



The image shows a black Sony Optical Disc Archive drive (model OSS-0380U) and a blue Sony Optical Disc Archive disc (model OSS-0380U). The drive has a disc tray and a power button. The disc is labeled with the Sony logo, 'Optical Disc Archive', and '5.5 TB'. The background is a blue gradient with a large, faint disc graphic.

■ 活動実績

事業の目的	平成29年度（2017）	平成30年度（2018）	令和元年度（2019）		
<p>本事業は、地域に根差し地域社会に貢献する大学として、本学独自で育ててきたデジタルアーカイブ研究を活用し、地域資源のデジタルアーカイブ化とその展開によって、伝統文化産業の活性化などの地域課題の実践的な解決や新しい文化を創造できる人材育成を行い、地域の知の拠点となる大学を目指すものである。</p> <p>具体的には、地域における地方創成イノベーション計画に呼応し、以下に示す地域の代表的な伝統文化産業と文化遺産について、デジタルアーカイブ研究とその利活用を行い、それぞれ伝統文化産業の振興と新たな観光資源の発掘を行う。</p>	<table border="1" data-bbox="703 475 999 523"> <tr> <td>応募</td> <td>採択</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ■ リーフレット作成 ■ ロゴマーク作成 ■ 事業実施委員会の開催 ■ 飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ作成委員会(高山) ■ 学生による地域課題解決提案事業採択 ■ デジタルアーカイブin高山開催（2018.2.4：78名参加） ■ デジタルアーキビストの養成 	応募	採択	<ul style="list-style-type: none"> ■ 郡上白山文化遺産デジタルアーカイブ作成委員会（郡上・白山・勝山） ■ 飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ作成委員会(高山) ■ データベースの構築 ■ 事業実施委員会の開催 ■ デジタルアーカイブin岐阜郡上開催（2019.2.23：260名参加） ■ 学生による地域課題解決提案事業採択 ■ 平成30年郡上市『白山ユネスコエコパーク』学術研究等採択 ■ デジタルアーキビストの養成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 郡上白山文化遺産デジタルアーカイブ作成委員会（郡上・白山・勝山） ● 飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ作成委員会(高山) ● デジタルサイネージ設置（中部国際空港・白山博物館） ● 事業実施委員会の開催 ● 私立大学研究ブランディング事業最終報告会（2020.2.11） ● デジタルアーキビストの養成 <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">岐阜市・沖縄</p>
応募	採択				
<p>飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ（計 78,783枚）</p>		<p>郡上白山文化遺産デジタルアーカイブ（計 72,025枚）</p>			

課題

1. 地域資源デジタルアーカイブについてその効果と可能性について説明しなさい。
2. 地域資源デジタルアーカイブの教育利用について、具体例を挙げて説明しなさい。
3. 地域資源デジタルアーカイブを具体的に企画しなさい。
4. 地域資源デジタルアーカイブと地域課題探求型学習の関係について具体例を挙げて説明しなさい。

第14講 高大連携による地域課題探究型学習

【目 的】

知識循環型社会においてデジタルアーカイブを有効的に活用し、新たな知を創造するという岐阜女子大学独自の「知的創造サイクル」の手法により、地域課題に実践的な解決方法を確立するために、地域に開かれた地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成のための基盤整備をした。このことにより、地域課題に主体的に取り組む人材を養成する大学として、地方創成イノベーションの実現と伝統文化産業の振興ならびに新たな観光資源の発掘を行うことができる。また、本研究を地域のフィールドにおける実証検証をするための研究として捉え、解の見えない地域課題の解決をするための地域資源デジタルアーカイブによる地域活性化を考える。

【学習到達目標】

- 地域資源デジタルアーカイブについて説明できる。
- 地域資源デジタルアーカイブの教育利用について具体例を示して説明できる。
- 地域資源デジタルアーカイブと地域課題探求型学習との関係について説明できる。

遠隔教育特講

第14講 高大連携による地域課題探究型学習

久世 均(岐阜女子大学)